

CAD製図専門学校工業専門課程 CAD製図科夜間部 建築コース
2023年度(令和5年度) シラバス

学校法人 古藤学園 CAD製図専門学校

CAD製図専門学校 工業専門課程 CAD製図科夜間部 建築コース 授業科目一覧

CAD製図 夜間部 建築コース		履修学年別単位数／履修時間					
		1年			2年		
	科 目	単位数	年時間数	週コマ数	単位数	年時間数	週コマ数
専 門 科 目	建築一般構造Ⅰ	2	44	0.5			
	建築一般構造Ⅱ				2	44	0.5
	住居計画	2	44	0.5			
	建築計画Ⅰ	2	44	0.5			
	建築計画Ⅱ				2	44	0.5
	建築史	2	44	0.5			
	建築設備				2	44	0.5
	建築材料Ⅰ	2	44	0.5			
	建築材料Ⅱ				2	44	0.5
	建築施工				2	44	0.5
	建築積算				2	44	0.5
	建築法規Ⅰ	2	44	0.5			
	建築法規Ⅱ				2	44	0.5
	構造力学Ⅰ	2	44	0.5			
	構造力学Ⅱ				2	44	0.5
	構造力学Ⅲ				2	44	0.5
	環境工学	2	44	0.5			
	都市計画				2	44	0.5
演 習 科 目	建築設計製図Ⅰ	8	352	4			
	建築設計製図Ⅱ				8	352	4
	建築CAD	4	176	2			
	卒業制作				2	88	1
	小 計	28	880	10	30	880	10
	合 計				58	1760	

科目	建築一般構造 I		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	建築物の主要な構造方式の概要を理解させ、併せて建築計画等の実践に対応する応用力を養う。「建築一般構造 I」では木造在来工法を中心に、その基本的事項を学習する。								
内 容									
1 建築構造のあらまし	1.建築構造のなりたち 2.建築構造の歴史的発達 3.建築構造の分類 4.建築物にはたらく力 5.関連する法律・規準								
2 木構造	1.構造の特徴と構造形式 2.木材 3.木材の接合 4.基礎 5.軸組 6.小屋組 7.床組 8.階段 9.開口部 10.外部仕上げ 11.内部仕上げ 12.木造枠組壁構法								
3 鉄筋コンクリート構造	1.構造の特徴と構造形式 2.鉄筋 3.コンクリート								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「最新建築構造入門」青木博文 他7名共作 実教出版									
					担当講師		白滝 章裕		

科目	建築一般構造Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44	
目標	建築物の主要な構造方式の概要を理解させ、併せて建築計画等の実践に対応する応用力を養う。「建築一般構造Ⅱ」では鉄筋コンクリート構造及び鋼構造を中心に、その基礎的事項を学習する。									
内 容										
1 鉄筋コンクリート構造	1.基礎 2.主体構造 3.仕上げ 4.壁式構造 5.プレストレスコンクリート構造			4 PC構造	1.構造原理 2.定着、部材製作、変形 3.施工、場所打ちPC 4.プレキャストPC部材 5.PC組立ラーメン構造					
2 鋼構造	1.構造の特徴と構造形式 2.鋼と鋼材 3.鋼材の接合 4.基礎 5.骨組 6.仕上げ 7.軽量鋼構造と鋼管構造 8.鉄骨鉄筋コンクリート構造									
3 特殊コンクリート構造	1.特質及び種別 2.補強コンクリートブロック造 3.型枠コンクリートブロック造 4.第2種型枠ブロック造 5.組積造									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書「最新建築構造入門」青木博文 他7名共作 実教出版										
					担当講師	姉川 剛				

科目	住居計画		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	<p>建築計画の基本となる住居計画を学習する。住まいの歴史的な時間の流れ、地域によって異なる環境、風土、文化や社会的背景が住居計画にどのようにおよぼしたかを学ぶ。住居系建築物における各部分の寸法、人間工学の基づく寸法、居室の平面計画、断面計画、インテリア計画、水廻り計画、動線計画、また、高齢者、障がい者の住居計画も学習する。</p>								
内 容									
1 住様式の住宅の変化	1.日本の伝統的住宅 2.西洋文化の流入と住様式の変化 3.寝食分離からnLDKへ	4 細部計画	1.人間の基本動作 ・各部寸法と人間の動作 ・人間の動作と家具 2.水回り寸法 ・トイレ ・浴室 3.移動のための寸法 ・廊下の幅員 ・車椅子の動作寸法 4.階段と傾斜路 ・階段 ・段差の対応 ・手摺の設置	2 戸建住宅	1.配置計画 2.平面の種類 3.各室の計画 ・寝室 ・居間 ・食事室 ・台所 ・家事室 4.規模計画 ・住宅と主要室の規模 ・部屋の断面				
3 集合住宅	1.団地計画 ・近隣住区理論 ・ワンセンター方式 ・住宅地の密度 2.集合住宅の種類 ・集合住宅の計画 ・低層集合住宅 ・中高層集合住宅								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書 「初学者の建築講座建築計画 第三版」 佐藤考一、五十嵐太郎共著 市ヶ谷出版社									
					担当講師		片平 眞知子		

科目	建築計画 I		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	各種建築の建築計画の基礎知識を習得する。学校教育施設、社会教育施設について、施設の役割、変遷、配置計画、平面計画、各室計画の要点を学習し、設計の基本的な考える力を養う。								
内 容									
1 幼稚園・保育所	1.幼稚園・保育所の変遷 2.幼稚園・保育所の計画 3.各室計画								
2 小学校・中学校	1.小学校・中学校の変遷 2.学校の計画 3.校舎の計画 4.新しい教育形態への対応								
3 生活圏とコミュニティ施設	1.地域計画とコミュニティ施設 2.社会教育施設が地域社会に果たす役割								
4 図書館	1.図書館の変遷 2.公共図書館の役割 3.地域図書館の計画 4.地域図書館の各室計画								
5 美術館	1.美術館の変遷 2.美術館の計画 3.各室計画								
6 コミュニティセンター・公民館	1.地域集会施設の概要 2.公民館・コミュニティセンターの計画								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「初学者の建築講座建築計画 第三版」佐藤考一、五十嵐太郎共著 市ヶ谷出版社 スライド、DVDビデオ									
					担当講師		宇野 浩生		

科目	建築計画Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	各種建築の建築計画の基礎知識を習得する。医療施設施設、福祉施設、商業施設について、施設の役割、変遷、配置計画、平面計画、各室計画の要点を学習し、設計の基本的な考える力を養う。								
内 容									
1 高齢社会と建築計画	1.高齢社会の到来 2.高齢者対応の枠組 3.ユニバーサルデザインの射程	6 百貨店・スーパーマーケット	1.百貨店・スーパーマーケットの変遷 2.大規模小売店の計画 3.売場の計画						
2 病院	1.病院の誕生 2.病院の計画 3.病院の部門構成 4.各室計画	7 宿泊施設	1.宿泊施設の変遷 2.宿泊施設の種類 3.ホテルの計画 4.各室計画						
3 高齢者施設	1.高齢者施設の分類 2.介護を目的とした福祉施設 3.療養・機能回復を目的とした福祉と病院の中間的施設 4.高齢者のための在宅利用施設 5.高齢者のための居住施設 6.各室計画	8 緑化	1.屋上緑化 2.屋根緑化 3.壁面緑化 4.インテリアとしての緑化 5.建築と造園						
4 事務所ビル	1.事務所ビルの変遷 2.事務所ビルの計画 3.規模計画のための原単位								
5 劇場・音楽ホール	1.劇場・音楽ホールの変遷 2.劇場・音楽ホールの計画 3.客席の計画 4.舞台の計画								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「初学者の建築講座建築計画 第三版」佐藤考一、五十嵐太郎共著 市ヶ谷出版社 スライド、DVDビデオ									
					担当講師		片平 眞知子		

科目	建築史		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	<p>建築の形態・空間及び意匠を形成過程の中で捉え、創造的な歴史的視点を養う。また、建築学の学習の基礎となる思想・概念・建築家・建築作品等を習得する。</p>								
内 容									
1 日本建築史	<ul style="list-style-type: none"> 1. 都城と宮殿、寝殿造り 2. 寺院と神社 3. 武家文化、書院造りの成立 4. 城郭と民家 5. 茶室と数寄屋 								
2 西洋建築史	<ul style="list-style-type: none"> 1. オリент、エジプト 2. ギリシャ、ローマ 3. キリスト教初期建築ビザンチン建築 4. ロマネスク、ゴシック 5. 新古典主義、歴史主義 								
3 近代建築史	<ul style="list-style-type: none"> 1. 産業革命と初期近代建築 2. アールヌーボー、アールデコ 3. ゼツェッシオン、ドイツ表現派 4. ドイツ工作連盟とバウハウス 5. 擬洋風建築 6. 日本のモダニズム 7. 戦後の建築、ポストモダン 								
4 現代建築	<ul style="list-style-type: none"> 1. 最新の現代建築 								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「建築史」桐島真次郎著 実教出版 スライド、DVD									
					担当講師		深井 準一、櫻井 春希		

科目	建築設備		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	<p>建築の消費エネルギーの削減技術や節水化技術の開発は重要であり、それらを担うのが建築設備である。そこで建築設備分野から考えた建築計画や設計のあり方を考えられるように基本的な能力及び知識を身につける。</p>								
内 容									
1 建築設備概論	1.建築設備とは 2.地球環境と建築設備	5 搬送設備	4.自家発電・蓄電池設備 5.照明・コンセント設備 6.情報・通信設備 7.防災設備						
2 給排水衛生設備	1.給排水衛生設備とは 2.給水設備 3.給湯設備 4.ガス設備 5.排水・通気設備 6.排水処理設備 7.衛生器具設備 8.消火設備		1.エレベーター 2.エスカレーター						
3 空気調和設備	1.空気調和設備とは 2.空気調和と室内環境 3.空気の状態を知る 4.空気負荷の考え方 5.空気 6.熱源・ 7.換気・ 8.自動制御設備								
4 電気設備	1.電気設備とは 2.受変電・幹線設備 3.動力設備								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「初学者の建築講座 建築設備」大塚雅之著 市ヶ谷出版社									
担当講師						姉川 剛			

科目	建築材料 I		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	各種建築材料について、その特性、品質、耐久性、形状、寸法を理解させ、安全、健康、快適な建築の提案ができ得るよう能力を養う。								
内 容									
1 建築材料の概要	1.建築と建築材料 2.建築材料の分類 3.建築材料と性能								
2 構造材料	1.木材 2.鋼材 3.コンクリート								
3 仕上材料	1.概要 2.木、竹製品 3.セメント・コンクリート・石こう製品 4.金属製品								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「図説 建築材料」武田雄二・西脇進・鷺見勇平著 学芸出版者									
					担当講師		白滝 章裕		

科目	建築材料Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	各種建築材料について、その特性、品質、耐久性、形状、寸法を理解させ、安全、健康、快適な建築の提案ができ得るよう能力を養う。								
内 容									
1 仕上材料	1.タイル・れんが 2.ガラス 3.石材 4.左官・吹付材料 5.畳、繊維製品 6.プラスチック材料 7.塗料 8.接着剤								
2 防水材料	1.防水材料の使われ方 2.防水材料								
3 防火・耐火、断熱・防音材料	1.概要 2.防火・耐火材料 3.断熱・防音材料								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「図説 建築材料」武田雄二・西脇進・鷺見勇平著 学芸出版者									
					担当講師		松山 哲則		

科目	建築施工		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	建築施工は建築の建ち上がる過程に注目し、「正確で迅速かつ安全に、さらにローコストに工事を行う」ための必要な基本的な知識を身につける。								
内 容									
1 計画・管理	ガイダンス 1. 施工計画 ①ネットワーク図Ⅰ ②ネットワーク図Ⅱ 2. 施工管理								
2 各部工事	1. 工事準備 2. 仮設工事 3. 工事準備 4. 仮設工事 5. 土工事・地業工事・基礎工事 6. 鉄筋工事 7. 型枠工事 8. コンクリート工事 9. 鉄骨工事 10. 組積工事 11. 木工事 12. 防水工事 13. 左官工事 14. タイル・石工事 15. 塗装工事 16. 建具・ガラス工事 17. 内装工事・断熱工事 18. 各種工事								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書 「専門課程 建築施工」福田健策・渡邊亮一 著 学芸出版社									
					担当講師		白滝 章裕		

科目	建築積算		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	<p>建設業における原価構成を理解させ、積算技術、建設コストを学習する。 また、建築構造別に土工事、躯体工事、仕上げ工事の数量積算を学習する。</p>								
内 容									
1 積算の概要	<ul style="list-style-type: none"> 1.積算の種類 2.工事費の構成 3.積算方式 4.数量の計算 								
2 土工・地業	<ul style="list-style-type: none"> 1.積算の区分と順序 2.設計例 3.土工の数量 4.地業の数量 								
3 鉄筋コンクリート造の積算	<ul style="list-style-type: none"> 1.積算の区分と順序 2.鉄筋の数量 3.設計例 								
4 鉄骨造の積算	<ul style="list-style-type: none"> 1.積算の区分と順序 2.鉄骨の数量 3.設計例 								
5 木造の積算	<ul style="list-style-type: none"> 1.積算の区分と順序 2.設計例 3.土工事・地業工事の数量 4.躯体工事の数量 5.仕上げ工事の数量 								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「初めての建築積算」 建築テキスト編集委員会著 学芸出版									
					担当講師		宇野 浩生		

科目	建築法規 I		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する基準として規定された建築基準法を理解させる。併せて、施行令や告示の運用力を養う。								
内 容									
1 建築士法	1.建築士の「業務・設計・工事監理」の範囲								
2 総括規定	1.用語の定義 2.面積の算定方法 3.建築物の高さの算定 4.地階一階数・地盤面の算定 5.延焼のおそれのある部分								
3 制度規定	1.確認を要する建築物・工作物・建築設備 2.建築手続きの種類								
4 単体規定	1.木造建築物の一般的制度 2.階段各部の寸法 3.居室の天井高、床下換気 4.居室の採光、採光計算 5.出口に関する規定、廊下の 6.避難階段と非常用進入口 7.構造計算の原則 8.木構造の強度規定 9.構造耐力上必要な軸組 10.換気設備の設置と構造 11.非常用照明装置の設置と構造								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
「建築関連法令集」[平成31年度版] 建築法令研究会編 井上書院									
					担当講師		白滝 章裕		

科目	建築法規Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する基準として規定された建築基準法を理解させる。併せて、施行令や告示の運用力を養う。								
内 容									
1 集団規定	1.道路の定義 2.用途地域の種類と建築制限 3.容積率、建ぺい率の制限 4.道路、隣地、北側斜線制限 5.防火地域、準防火地域の建築制限 6.日影規制								
2 関連法規	1.都市計画法 2.建設業法 3.消防法 4.高齢者移動等円滑化法								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
「建築関連法令集」[平成31年度版] 建築法令研究会編 井上書院									
					担当講師		宇野 浩生		

科目	構造力学 I		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44
目標	<p>建物に力が作用した場合の骨組各部に生じる応力を知ることは、安全な建物を設計するうえで重要である。力の釣り合いを理解した上で簡単なはりに力が作用した場合の応力の求め方を学ぶとともに応力図を描けるようにする。</p>								
内 容									
1 力の基礎 6時間(3コマ)	1.力の表現と種類 ・一点に集中する力 ・力のモーメント ・分布する力 2.力の釣り合い								
2 静定構造 38時間(19コマ)	1.構造物の分類と表現 ・構造物の分類 ・構造部とのモデル化 2.反力 ・単純梁の反力 ・片持ち梁の反力 ・ラーメンの反力 3.梁・ラーメン部材に生じる力 ・部材に生じる力の種類 ・部材に生じる力の計算方法 ・曲げモーメントとせん断力の関係 ・重ね合わせの原理 4.トラス部材に生じる力 ・切断法 ・節点法 ・図解法								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「図解レクチャー 構造力学」浅野清昭著 学芸出版社									
					担当講師		宇野 浩生		

科目	構造力学Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	<p>軸方向力、せん断力、曲げモーメントといった部材の中に生じる力を求める。これらの力は一本の矢印、すなわち一点に集中する力として表現してきた。しかし、断面には広がりがあるので部材に生じる力を断面に分布する力としてとらえる。これを応力度という。</p>								
内 容									
1 断面に関する数量 10時間(5コマ)	1. 図心 2. 断面二次モーメント 3. 断面係数 4. 演習問題								
2 応力度 34時間(17コマ)	1. 引張・圧縮応力度 2. 曲げ応力度 3. せん断応力度 4. 許容応力度 5. 許容曲げモーメント 6. 曲げ応力度と引張・圧縮応力度との組み合わせ 7. 演習問題								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「図解レクチャー 構造力学」浅野清昭著 学芸出版社									
					担当講師		姉川 剛		

科目	構造力学Ⅲ			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44
目標	不静定構造物の解析を固定モーメント法、たわみ角法の算出法、座屈を修得する。									
内 容										
1 不静定構造物の解析 30時間(15コマ)	1. 曲げモーメントからせん断力と軸方向を求める 6時間(3コマ) ・曲げモーメントから外力とせん断力を求める ・荷重と曲げモーメントからせん断力と軸方向力を求める 2. 接点が移動しない構造物の解析 12時間(6コマ) ・固定モーメント法 ・接点が移動しない構造物 ・中間荷重が作用しない構造物を解く ・中間荷重が作用する構造物を解く 3. たわみ角法 12時間(6コマ) ・たわみ角法の基本式 ・たわみ角法による解法									
2 座屈 14時間(7コマ)	1. 座屈 2. 静定構造物の崩壊 3. 不静定構造物の霸王会									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書 「図解レクチャー 構造力学」 浅野清昭著 学芸出版社										
						担当講師		姉川 剛		

科目	環境工学		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	44	
目標	建築をとりまく自然環境と都市環境に関する基本的な項目と、その中で決適な室内環境をつくり出すための必要な能力及び基本的な知識を身につける。									
内 容										
1 建築環境の概論	1.自然の中の建築 2.都市の中の建築 3.建築環境工学の考え方と手法	7 音環境	1.音の性質 2.遮音と吸音 3.騒音と振動	2 気候	1.外部気候 2.室内気候	8 都市の熱環境	1.都市の熱環境 2.都市の空気環境 3.都市の音環境 4.都市の水環境	3 伝熱と結露	1.伝熱 2.結露	
4 換気と通風	1.室内の空気汚染 2.換気 3.通風			5 日照と日射	1.日照と住環境 2.太陽の位置 3.日照と日影の検討 4.日射			6 採光・照明と色彩	1.測光量 2.視覚と見やすさ 3.採光 4.照明 5.色彩	
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書 「初めての建築環境」 建築テキスト編集委員会著 学芸出版社										
					担当講師	深井 準一、櫻井 春希				

科目	都市計画			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	44	
目標	<p>これからの建築と都市とは、建築とまちづくりとは何かを理解する。建築と都市の歴史や、建築および都市計画に関わる制度を学び、市民・地域住民やコミュニティといったネットワークとの繋がりを理解し、過去や現在の建築・都市計画の法制度のあり方も、高度なものが求められて、今後の建築・都市設計に生かすことを目的とする。</p>										
内 容											
1 建築から概観した都市の歴史	1.建築空間によって構成される都市について 2.西洋の都市と東洋の都市 3.ヨーロッパの都市の成立 4.中国の都市の成立 5.日本の都市の成立 6.建築による都市化について									5.都市交通の計画技術 6.公園・緑地計画 7.市街地開発事業 8.都市と防災 9.建築・都市の景観とまちづくり 10.まちづくりと制度と技術 11.海外の都市計画制度 12.都市計画制度の展望	
2 都市計画概論	1.都市と都市計画 2.都市と市街地 3.都市の住まいと環境 4.地区計画のデザイン 5.都市の再生と交通システム 6.都市と自然 7.都市を再生する 8.都市と防災 9.都市の景観まちづくり 10.参加・協働のまっずくり 11.諸外国の事例 12.21世紀の日本の都市計画	4 日本の都市空間	5 歴史的まちなみ							1.都市空間の形成 2.都市空間の技法 1.京都東山地区 2.高山市上三之町 3.白川郷・五箇山 4.馬籠宿、妻籠宿 5.大内宿 6.宿根木	
3 建築と都市と環境	1.都市計画制度とマスタープラン 2.土地利用計画 3.建築のコントロール 4.建築協定・地区計画	6 ランドスケープデザイン								1.公園・都市緑地計画 2.都市と水空間 3.ストリートペーパメントとランドスケープファーニチャー 4.歩行車空間	
評 価											
定期試験及び平常点による総合評価											
教 材											
教科書 「初めて学ぶ 都市計画(第二版)」 饗庭伸・鈴木伸治著 市ヶ谷出版											
						担当講師	松山 哲則				

科目	建築設計製図 I		必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	352
目標	建築製図の基本を学習させ、図面を読む、描く能力を養う。木造及び鉄筋コンクリート造図面の基本的な表現方法を習得させ、さらに実習課題をとおして、設計・計画の能力を養う。								
内 容									
1 基礎製図	1.線の描き方 2.文字の書き方 3.数字の書き方 4.表示記号								
2 木造の描き方 (2階建戸建住宅)	1.配置図の製図 2.各階平面図の製図 3.断面図の製図 4.立面図の製図 5.矩計図の製図 6.屋根伏図の製図								
3 鉄筋コンクリート造のトレース	1.配置図兼1階平面図 1/100 2.2階平面図 1/100 3.断面図(2面) 1/100 4.立面図(4面) 1/100 5.矩計図 1/30								
4 独立専用户建住宅の設計製図 (木造)	1.エスキス 2.配置図兼1階平面図 3.2階平面図 3.断面図 4.立面図 5.模型								
評 価									
課題作品及び出席状況									
教 材									
教科書「始めて学ぶ設計製図」 建築テキスト編集委員会著 学芸出版社									
					担当講師		白滝 章裕、宇野 浩生 深井 準一、櫻井 春希		

科目	建築設計製図Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	8	時間数	352	
目標	<p>「設計製図Ⅰ」において修得した、鉄筋コンクリート造ラーメン構造、壁構造の基礎知識を活かし、プランニング方法をトレーニングし、避難計画、防災計画、設備計画、外構計画など、店舗兼用住宅、小中規模のビルの計画の中で熟慮する。</p>									
内 容										
1 RC壁構造による店舗付き住宅	1.エスキス 2.配置図 1/100 3.各階平面図 1/100 4.立面図 1/100 5.断面詳細図 1/50 6.模型 1/50									
2 RCラーメン構造によるオフィスビルの設計	1.エスキス 2.配置図 1/200 3.平面図 1/200 4.立面図 1/200 5.断面図 1/200									
3 RCラーメン構造、または鉄骨構造による図書館	1.エスキス 2.配置図 3.平面図 4.立面図 5.断面図 6.模型									
4 美術館の設計(構造:自由)	1.エスキス 2.配置図 3.平面図 4.立面図 5.断面図 6.模型									
評 価										
課題作品及び出席状況										
教 材										
教科書「始めて学ぶ設計製図」 建築テキスト編集委員会著 学芸出版社										
						担当講師	片平 眞知子、郡山 貞子 宇野 浩生			

科目	建築CAD		必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	176
目標	<p>1.簡単な図形の描き方から始めた基本的なCADの操作法を学ぶ。 2.CADによる家具図・インテリア製図を行うことによって、基本的な製図法及びCAD技術を習得。 3.建築設計製図などの他科目との連動による住宅計画、及びCADによる設計製図により、CAD技能と設計力の習熟度を増す。</p>								
内 容									
1 ガイダンス	1.CADの概念 2.メニュー使用法 3.ツール使用法 4.パレット使用法 5.基本図形描画 6.線図形・面図形 7.図形の加工と編集 8.演習			4 住宅設計	1.建築設計製図等の他教科との連動による設計力の強化 2.上記CAD技能の再確認及び修練 3.図形の属性編集 4.レイヤ・クラス編集 5.グループとシンボル編集 6.マクロツール 7.面積計算 8.模型作成 9.プレゼンテーション				
2 家具図作成	1.テーブルの三面図 2.寸法と文字 3.面貼り・色付け 4.3DCAD概説 5.テーブルの3D化 6.図面のレイアウト 7.収納棚の三面図 8.収納棚の3D化 9.出力と電子化								
3 インテリア製図作製	1.平面図作成 2.展開図作成 3.他データの挿入一応用 4.3DCG用図面化 5.CG画像の読込・レイアウト 6.出力・プレゼンテーション								
評 価									
課題提出物・定期試験・出席率による査定									
教 材									
教科書「できるAutoCAD 2019/2018/2017/1016/1015対応」 できるシリーズ編集部 矢野悦子著 インプレス									
					担当講師		白岩 秀基		

科目	卒業制作			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	88	
目標	2年間建築学を学んだ上で、集大成として卒業制作を行う。建築研究、作品研究、設計など各プロジェクトを決定し取り組む。										
内 容											
1	各プロジェクトの選択										
2	各プロジェクトの方法										
3	各プロジェクトの実施										
4	各プロジェクトのプレゼンテーション										
5	作品集の制作										
評 価											
制作課題に対する総合評価											
教 材											
						担当講師	松山 哲則				